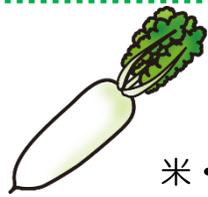


# 給食だより 1月号



新しい年を迎えました。ぜひいい年にしたいですね。1年間を健康で元気に過ごすための目標をそれぞれ立ててみましょう。1月には全国学校給食週間があります。学校給食の歴史をふり返り、その意義や役割をあらためて考える1週間です。



## 今月使用の地元食材

米・しゅんぎく・ほうれん草・小松菜・かぶ・切干し大根  
大根・紅くるり大根・キャベツ・白菜・オレンジ白菜・さといも  
あじみ菜・ねぎ・長ネギ・人参・ブロッコリー・いちご

1月はたくさんの種類の地元野菜を使います。  
オレンジ白菜や紅くるり大根などのカラフルな野菜が、  
給食に登場するので楽しみにしてくださいね。

## 〈1月のフルーツ給食〉



1/15 いちご

ハウス栽培のいちごは、この時期に旬を迎えます。紀の川市は県内でもいちごの名産地です。おいしくて甘酸っぱいいちごを召し上がれ。

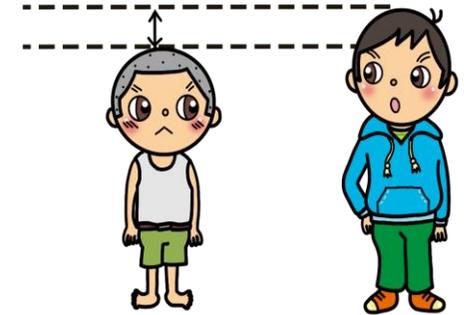
## 全国学校給食週間



1月24日から30日までは全国学校給食週間です。学校給食の意義や役割についての理解と関心を深め、学校給食のより一層の充実と発展を図ることを目的に行われています。

昭和20(1945)年、戦争が終わったばかりの日本では食料が不足し、栄養不足の子どもたちがたくさんいました。給食も戦争で中断されたままでした。

そのころの小学6年生の体は、今の小学4年生くらいの大きさだったといえます。



この日本の様子を見て、外国から食べ物の援助がたくさん送られてきました。こうして昭和21(1946)年12月24日、学校給食がふたたび始まりました。

12月24日は学校が冬休みなので、1ヵ月遅らせた1月24日から「全国学校給食週間」が行われます。給食に感謝し、その意義と役割を再確認する1週間です。

